

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立中山小学校  
校長名 坪内 雅一

平成20年度の教育課程について(届)

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1. 教育目標

(1) 学校の教育目標

日本国憲法、教育基本法の精神に則り、自主・自律及び共同の精神に満ちた健全な児童、社会の形成に主体的に参画し、我が国の未来を担うことのできる児童、我が国の伝統や文化を尊重し、国際社会に生きることのできる児童の育成を目指して、次の教育目標を設定する。

楽しく学ぶ子ども 楽しく遊ぶ子ども 楽しく鍛える子ども (重点目標)

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

1 個性を生かす教育を充実し、学力の伸長を図る

- (1) 自主的・主体的な学習活動が展開されるよう時間的・精神的にゆとりある教育活動を計画・実施する。
- (2) 個に応じた指導方法の工夫をしたり、社会体験活動や自然体験活動を取り入れたりして、一人一人の児童に学習することの楽しさを味わわせ、学力の伸長を図る。
- (3) 教員相互の連絡・連携を密にする月1回の教育相談活動と専門家を招聘しての年5回の特別支援教育研修会を生かし、児童一人一人の個性や能力の伸長と基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付けさせる指導の徹底を図る。

2 児童の健全育成を推進する

- (1) 道徳、特別活動、生活指導を中心として、児童相互や教員との温かい人間関係を深める教育活動を展開し、思いやりの心や感動する心などの豊かな人間性を育成する。
- (2) 家庭、地域社会との協力・連携の絆を深め、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、社会規範を守り、道徳性を高める指導の工夫をし、心の教育の充実を図る。
- (3) 地域の人々や自然、文化と触れ合い、地域社会から学ぼうとする態度や郷土を愛する心を養い、地域社会の形成者としての資質・態度を育成する。
- (4) 開かれた学校を目指し、学校評議員会、学校説明会などの充実を図り、地域の人々から児童と学校が理解されるよう努める。数値目標を手掛かりに、児童の成長をともに確かめる。

3 健康・安全教育の徹底を図る

- (1) 心と体の健康づくりと体力向上を目指した取り組みを推進し、自他の生命を大切にすることを培うとともに、生涯にわたって運動に対する愛好的な資質・態度を育成する。
- (2) 食育に関する指導を計画的に実施するとともに、望ましい食生活について家庭との協力・連携を深める。
- (3) 教育環境の整備と事故防止の徹底を図るために、月1回以上の複数の目による安全点検を行い、安全で楽しい学校生活を送れるようにする。

4 豊かな言語活動の推進する

- (1) 日本語の美しさを感じることのできる児童を人とのかかわりを通して育成する。
- (2) 日本語を大切にすることを人的・物的言語環境を整えることで推進する。

## 2 指導の重点

## (1) 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

## ア 各教科

隣接学年による学級担任相互の協力的な指導や副担任制(専科教員・非常勤教員)によるチーム・ティーチングや少人数指導などの指導方法・指導形態の工夫をし、個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と習熟を図る。

学力定着度調査結果を基に、授業改善推進プランを立て、楽しく学ばせる指導方法の工夫と指導計画の改善に努め、学力を尚一層伸長・育成する授業づくりを推進する。学習に対する児童への意識調査を行い、「とても楽しい」「楽しい」と応える児童を80%以上にする。

学習過程における評価を重視し、その結果を指導方法の工夫・改善に生かし、児童一人一人にあった主体的な学習の仕方を身に付けさせ、学力の伸長・育成を図る。

重点目標「楽しく鍛える子ども」を実現するために、児童が意欲を高めるチャレンジ学習に組織的に取り組む。心と体の健康づくりと体力向上を目指し、体育科を中心としながら、休み時間のたてわり班遊び、体育的行事、前期に体育系クラブ活動の設定、その他学級活動、集会活動においてもすすめ、学校全体の体育的活動の組織化を図る。

## イ 道徳

年間を通しての隣接学年による共同学習や共同生活とたてわり活動を通して、豊かな人間関係を築きあげるとともに、自分を律する心や相手を思いやる心をはぐくむ。また、異学年集団の中で、約束やルールを大切にすることをはぐくむ。

学校公開日の一つとして道徳授業地区公開講座を実施し、道徳授業の公開と講演・懇談会などを通して、学校と家庭・地域社会とで「児童を共に育てる」視点での連携・協力についての相互理解を深める。

児童一人一人に人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培い、人間としてよりよく生きていく態度の育成を図る。そのために指導計画や指導方法の工夫・改善を図り、教育活動全体を通して道徳教育を推進する。

## ウ 特別活動

隣接学年との共同活動(ふれ合い給食・話し合いなど)やたてわり活動(学校行事、清掃など)を通して、学級や学校生活の諸問題の解決、組織づくりや仕事の分担処理に取り組み、学年を超えた集団の中で、楽しさ溢れる学校生活を創造する。

異年齢集団による自発的・自治的な活動(ユニセフ、エコキャップなど)を通して、住みやすい環境づくりをする児童を育成する。クラブ・委員会活動は3年時から行う。

## エ 総合的な学習の時間

中山地域の豊かな自然環境や文化遺産を学習の素材とし、地域人材を活用した体験的な学習活動を通して、主体的に課題を追究するなど、楽しく学習する児童の育成を図る。

隣接学年との共同学習、たてわり班を活用した学習を通して、自分自身と身近な集団の質を高め、これからの世の中をよりよく生きるための基礎を培う。

## (2) 特色ある教育活動

ア 「花いっぱいの学校」づくりをすすめ、中山地域の特色を生かし、花と作物の栽培活動、飼育活動、生活環境の美化活動、自然環境の保全活動を通して、美しい自然に感動する心、命を大切にすることを、他人を思いやる優しい心などの生きる力を育成する。

イ 週3回のモジュールの時間「中山タイム」を活用し、国語と算数の繰り返し学習を週1回ずつ実施し、基礎学力の定着を図る。また、週1回をスピーチの時間とし、自分の考えや思いを表現したり、相手の考えや気持ちを理解したりする力を育成する。

ウ 隣接学年との共同学習・共同活動やたてわり活動を通して、学年を超えた人間関係を築き上げ、互いに認め合ったり、受けとめ合ったりする人的環境づくりをすすめる。

### (3) 生活指導・進路指導

#### ア 生活指導

皆が気持ちよく過ごせる学校を目指し、特にあいさつ指導の徹底を図る。あいさつに対する児童の意識調査を行い「よくしている」「している」と応える児童を70%以上にする。

週1回の生活指導朝会と学期毎の生活指導全体会を充実させ、児童の問題行動などに対する連携を密にし、児童理解を深めるとともに、児童相互の人間関係を豊かにする。

特別支援教育推進のために、校内特別支援教育委員会を組織し、特別支援教育コーディネーターを中心に、個々の児童に対応できる協力指導体制の確立を図る。

防犯教室やセーフティ教室の設定、学校安全マップや学校安全マニュアルを作成し、自分自身の生命・身体を守る安全指導の徹底を図る。

#### イ 進路指導

将来への希望と夢をもち、自分自身の生き方を考えられるよう個性・適性・能力に応じた指導に努める。

中山中学校との交流を密にし、小・中学校の各種行事や教育活動への体験学習や見学・鑑賞学習などを実施し、相互交流を図る。